

alternating chain

Yasuda Yasutomo

2019 年 11 月 22 日

One-step lemma を使って枝の一方が ill-founded となっている alternating chain を作る.

1 準備

定義 1.1. \mathcal{T} を M 上の iteration tree とする. $\alpha < \beta < \text{lh}(\mathcal{T})$ に対して

$$\rho(\alpha, \beta) = \min\{\text{strength}^{\mathcal{M}_\gamma}(E_\gamma) \mid \alpha \leq \gamma < \beta\}$$

と定義する.

定義 1.2. \mathcal{T} を iteration tree とし, $\beta + 2 < \text{lh}(\mathcal{T})$ とする. このとき $\mu(\beta)$ を,

$$\mu(\beta) = \sup\{\text{cp}(E_\alpha) \mid (\alpha + 1)_-^T \leq \beta < \alpha < \text{lh}(\mathcal{T})\}$$

と定義する.

また iteration tree \mathcal{T} が plus one であるとは,

$$\mu(\beta) + 1 \leq \text{strength}^{\mathcal{M}_\beta}(E_\beta)$$

を満たすときのことをいう.

定理 1.3 (One-step lemma). 次を仮定する.

- M, N は推移的な ZFC のクラスモデル.
- $\delta \in M \cap N$ を V で到達不能基数, M で Woodin 基数.
- $\kappa \leq \eta < \delta$ を順序数.
- $\xi < \beta_M$ を M の順序数とする. また β_N を N の順序数とする.
- $x_M, y_M \in {}^{<\omega}V_{\delta+\xi}^M$ かつ $x_N \in {}^{<\omega}V_{\delta+\beta_N}^N$. ただし $\text{lh}(x_M) = \text{lh}(x_N)$ とする.
- $\phi(v)$ を論理式とする.

これらに対して, 次を仮定する.

- M, N agree through $\kappa + 1$.
- $(\text{tp}_{\delta, \beta_M}^\kappa)^M(x_M) = (\text{tp}_{\delta, \beta_N}^\kappa)^N(x_N)$
- κ は M において, β_M -reflecting in x_M relative to δ .
- $V_{\delta+\beta}^M \models \phi[\xi]$

このとき, ある順序数 $\lambda < \delta$ と M の (κ, λ) -エクステンダー $E \in V_\delta^M$ が存在して, $\prod_E^N(N, \in)$ は *ill-founded* または, 順序数 $\kappa^* \in \text{Ult}(N, E)$ と $\xi^* \in \text{Ult}(N, E)$, $y^* \in {}^{<\omega}V_{\delta+\xi^*}^{\text{Ult}(N, E)}$ が存在して次を満たす.

- $i_E^N(x_N) \in {}^{<\omega}V_{\delta+\xi^*}^{\text{Ult}(N, E)}$
- $\eta < \kappa^* < i_E^N(\kappa) < \delta$
- $\xi^* < i_E^N(\beta_N)$
- $\text{Ult}(N, E), M$ agree through $\kappa^* + 1$.
- $(\text{tp}_{\delta, \xi^*}^{\kappa^*})^{\text{Ult}(N, E)}(i_E^N(x_N) \hat{\ } y^*) = (\text{tp}_{\delta, \xi}^{\kappa^*})^M(x_M \hat{\ } y_M)$
- κ^* は $\text{Ult}(N, E)$ において, ξ^* -reflecting in $i_E^N(x_N) \hat{\ } y^*$ relative to δ .
- $V_{\delta+i_E^N(\beta_N)}^{\text{Ult}(N, E)} \models \phi[\xi^*]$

iteration tree の構成をうまく回すトリックが次である.

命題 1.4. δ を到達不能基数とする. $X \in V_\delta$ を空でない集合とし, T を $X \times Y$ 上の木とする.

このときある順序数 $\nu, \zeta_0, \zeta_1, \rho$ が存在して次を満たす.

1. $\nu < \zeta_0 < \zeta_1 < \rho$
2. $\nu, \zeta_0, \zeta_1, \rho$ は共終数が δ より大きい強極限基数.
3. $(\text{tp}_{\rho, 0}^\nu)(\langle \zeta_0 \rangle) = (\text{tp}_{\rho, 0}^\nu)(\langle \zeta_1 \rangle)$
4. $T \in V_\nu$

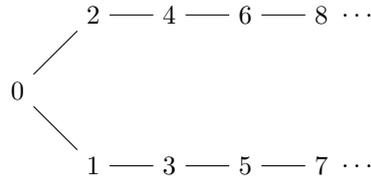
証明. Z を ρ は共終数が δ より大きい強極限基数のクラスとする. $\nu \in Z$ を $T \in V_\nu$ となる最小でとる. ρ を $|V_{\nu+1}|$ 番目の Z の元とする. 取り方から条件を満たす ζ_0, ζ_1 が存在する. \square

Note 1. 上の状況と同じ状況とし, $\nu, \zeta_0, \zeta_1, \rho$ を取る. このとき次が成立.

- $\mathcal{U} \in V_\delta$ を iteration tree とすると, \mathcal{U} から定まる初等埋め込みに関して $\nu, \zeta_0, \zeta_1, \rho$ は固定される.
- 任意の $z \in {}^{<\omega}V_\nu$ と $\alpha < \delta$ に関して, $(\text{tp}_{\delta, \zeta_0}^\alpha)(z) = (\text{tp}_{\delta, \zeta_0}^\alpha)(z)$ が成立する.
- 任意の $z \in {}^{<\omega}V_\nu$ と $\kappa < \delta$ に関して, κ が ζ_0 -reflecting in z relative to δ であることと ζ_1 -reflecting in z relative to δ であることは同値.

定理 1.5. *alternating chain* とは長さ ω の V 上の iteration tree \mathcal{C} で次の tree ordering C を持つものである.

$$mCn \Leftrightarrow 0 = m < n \vee \exists k \geq 1 (m + 2k = n)$$



Note 2. • 定義から *alternating chain* は plus one であることがわかる.

- *alternating chain* には枝が 2 本あり, $\{2n \mid n \in \omega\}$ を *Even*, $\{0\} \cup \{2n + 1 \mid n \in \omega\}$ を *Odd* と呼ぶ.

2 構成

定理 2.1. δ を Woodin 基数とする. このとき *alternating chain* \mathcal{C} で $\mathcal{C} \in V_\delta$ かつ *Even* が *ill-founded* となるものが存在する.

証明. δ に対して, $\nu, \zeta_0, \zeta_1, \rho$ を取る. $k \in \omega$ 上の帰納法で $\mathcal{C}_{2k}, \kappa_{2k}, \beta_k$ で次を満たすものを構成する.

- $\mathcal{C}_{2k} \in V_\delta$ は V 上の長さ $2k+1$ の *iteration tree* で, *tree ordering* が $\mathcal{C} \upharpoonright (2k+1)$ となる.
- $\kappa_{2k} < \delta$
- β_k は順序数.

さらに各 $k \in \omega$ に関して次を満たすように構成する.

1. $M_{2k}, M_{(2k+1)^-}$ agree through $\kappa_{2k} + 1$.
2. $\left(\text{tp}_{\delta, \beta_k+1}^{\kappa_{2k}}\right)^{M_{2k}}(\emptyset) = \left(\text{tp}_{\delta, \zeta_0+1}^{\kappa_{2k}}\right)^{M_{(2k+1)^-}}(\emptyset)$
3. κ_{2k} は M_{2k} において, $(\beta_k + 1)$ -reflecting in \emptyset relative to δ .
4. $n < m \leq k$ ならば, $\beta_m < j_{2n, 2m}(\beta_n)$ が成立する.

(構成) $k=0$ のとき. δ は Woodin 基数であるから κ_0 を $(\zeta_0 + 1)$ -reflecting in \emptyset relative to δ となるように取り, $\beta_0 = \zeta_0$ とする.

$\mathcal{C}_{2k}, \kappa_{2k}, \beta_k$ まで構成したと仮定する. δ は *iteration tree* の超冪における初等埋め込みにおいて固定されることから, δ は M_{2k} において Woodin 基数である.

One-step lemma を,

- $M = M_{2k}$
- $N = M_{(2k+1)^-}$
- $\kappa = \kappa_{2k}$
- $\eta = \kappa_{2k}$
- $\beta_M = \beta_k + 1$
- $\xi = \beta_k$
- $\beta_N = \zeta_0 + 1$
- $x_M = \emptyset$
- $y_M = \emptyset$
- $x_N = \emptyset$
- $\phi(v) = "$ $\kappa + v$ は最大の順序数"

に対して使う. $\lambda < \delta$ と M_{2k} の (κ_{2k}, λ) -エクステンダー $E \in V_\delta^{M_{2k}}$ を取る. このとき帰納法の仮定より $\prod_E^{M_{(2k+1)^-}} M_{(2k+1)^-}$ は整礎となる. よって κ^*, ξ^*, y^* を取る. このとき $y^* = \emptyset, \xi^* = \zeta_0$ となっている.

$E_{2k} = E, \kappa_{2k+1} = \kappa^*$ とし, \mathcal{C}_{2k} の延長を $\mathcal{C}_{2k+1} \in V_\delta$ とする. \mathcal{C}_{2k+1} は V 上の長さ $2k+2$ の *iteration tree* で, *tree ordering* が $\mathcal{C} \upharpoonright (2k+2)$ となっている.

また *One-step lemma* と ζ_0, ζ_1 の取り方から次が成立する.

1. M_{2k+1}, M_{2k} agree through $\kappa_{2k+1} + 1$.

2. $(\text{tp}_{\delta, \zeta_1}^{\kappa_{2k+1}})^{M_{2k+1}}(\emptyset) = (\text{tp}_{\delta, \beta_k}^{\kappa_{2k+1}})^{M_{2k}}(\emptyset)$
3. κ_{2k+1} は M_{2k+1} において, ζ_1 -reflecting in \emptyset relative to δ .

再び *One-step lemma* を,

- $M = M_{2k+1}$
- $N = M_{2k}$
- $\kappa = \kappa_{2k+1}$
- $\eta = \kappa_{2k+1}$
- $\beta_M = \zeta_1$
- $\xi = \zeta_0 + 1$
- $\beta_N = \beta_k$
- $x_M = \emptyset$
- $y_M = \emptyset$
- $x_N = \emptyset$
- $\phi(v) = "v = v"$

に対して使う. $\lambda^* < \delta$ と M_{2k+1} の $(\kappa_{2k+1}, \lambda^*)$ -エクステンダー $E^* \in V_\delta^{M_{2k+1}}$ を取る. このとき $\prod_{E^*}^{M_{2k}} M_{2k}$ は整礎となる. よって κ^*, ξ^* を取る. $\xi = \zeta_0 + 1$ より β_{k+1} を $\beta_{k+1} + 1 = \xi^*$ となるように取る. $E_{2k+1} = E^*$, $\kappa_{2k+2} = \kappa^*$ として, C_{2k+1} の延長を $C_{2k+2} \in V_\delta$ とする. C_{2k+2} は V 上の長さ $2k+3$ の *iteration tree* で, *tree ordering* が $C \upharpoonright (2k+3)$ となっている.

$2k+3$ においても帰納法の仮定は成立している. (構成終)

枝 *Even* の *direct limit* を $(\bar{M}_{\text{Even}}, \langle j_{2n}^{\text{Even}} \mid n \in \omega \rangle)$ とすると, $n < m \in \omega$ について, 構成より $j_{2m}^{\text{Even}}(\beta_m) < j_{2n}^{\text{Even}}(\beta_n)$ が成立するので \bar{M}_{Even} は *ill-founded* である. \square

参考文献

- [1] Martin, D., and J. R. Steel. Iteration Trees. *Journal of the American Mathematical Society* 7, no. 1 (1994): 1-73. doi:10.2307/2152720
- [2] Martin, D., and Steel, J. (1989). A Proof of Projective Determinacy. *Journal of the American Mathematical Society*, 2(1), 71-125. doi:10.2307/1990913
- [3] Martin, D. Determinacy of Infinitely Long Games.